



「水門のながれ」那珂湊第一小学校  
創立百周年記念誌より

暦の上では春立ちましたが、まだまだ厳しい寒さが続いています。そのような中でも、子どもたちは、学年毎に行われる縄跳び大会に向けて、短縄や大縄の練習に元気に取り組んでいます。

さて、明治6年8月に「水門（みなと）小学校」として誕生した那珂湊第一小学校は、令和5年度に創立150周年を迎えます。現在、後援会の皆様を中心に、創立150周年記念事業実行委員会を発足し、事業の計画・推進にご尽力いただいております。「150周年の想いを胸に 未来へ羽ばたけ 湊っ子！」のテーマの下、子どもたちを主体とし、ご家庭や地域の皆様と一緒に、楽しく思い出に残る取組を行っていきたくと考えております。実行委員の皆様のお熱い想い、そして地域の皆様の温かいお心遣いやお言葉をいただき、教職員一同、湊一小に勤務する幸せを感じると共に、大きな励みとなっております。今後共、ご協力の程よろしくお願いたします。

## 150周年行事「桜の木プロジェクト」



1月30日（月）からシンボルツリーである桜の木（ソメイヨシノ）の保護作業が行われました。枯枝・衰退枝の切除⇒腐朽部の高圧洗浄⇒殺菌剤の塗布・散布⇒土壌改良という行程で作業が進められました。

2月3日（金）には、6年生が樹木医の方のご指導の下、土壌改良作業に取り組みました。機械で地盤を柔らかくした後に、棒状の肥料を地面に打ち込んだり、地面に穴を開けて顆粒の肥料を入れたりしました。年を重ねる毎に桜が変化していくとのことですので、今後の生長を地域の多くの方々にもご覧いただけたらと思います。また、卒業を前に、数年に一度の貴重な活動に携わった6年生の想いを、5年生から1年生につないでいきます。

### \*お知らせ\*

#### ○ 滑り台とサッカーゴールについて

この度、新たに滑り台とサッカーゴールが設置され、より安全に学習等に取り組めるようになりました。子どもたちも意欲も高まっています。

#### ○ 学校の様子について

ぜひ学校ホームページをご覧ください。  
「ひたちなか市立那珂湊第一小学校の  
トップページ」と検索していただくか、  
上記のQRコードよりお入りください。



1月12日(木)、13日(金)は、4年生から6年生が、県学力診断のためのテスト(4教科)を行いました。併せて、1年生から3年生は、CRTテスト(国語・算数)を行いました。どの学年も、事前に復習を行ったり、問題に慣れるための練習をしたりして、当日のテストに臨みました。子どもたちは、担任の先生と共に、よく頑張ったと感じております。結果として点数の良し悪しはありますが、それ以上に、基礎学力の定着は、子どもたち自身を守る大切な力であると考えています。いざ選択を迫られた時に、自分事として捉え、自分で判断して行動できるか、それとも、よく分からないために、周りの人の様子を見て流されてしまうのか、どちらが正解というわけではありませんが、日々の積み重ねによって力に大きな差が生まれてしまうことは言うまでもありません。

今後は、結果を分析し、苦手な問題を洗い出すなどして、まとめの学習に取り入れていきます。現在、教職員も、教材研究等を行い授業改善に努めております。子どもたちは、間もなく進級・進学の時を迎えます。どうぞご家庭におきましても、基礎学力の定着に向けて、お子様の家庭学習等へのお力添えをいただきますようお願いいたします。



書き初め大会



1月13日(金)、17日(火)、24日(火)は、各学年で書き初め大会を行いました。1,2年生は硬筆ですが、フェルトペンで伸び伸びと書いていました。3年生から6年生は、体育館で条幅の用紙に毛筆で書きました。自ら正座をして話を聞くなど、心を整えて真剣に取り組む姿が印象的でした。

原子力に関する避難訓練



1月19日(木)は、原子力に関する避難訓練を行いました。火災や地震の場合は、屋外に避難しますが、原子力の場合は、屋内の外気が入らない安全な場所に避難することが大切です。校庭で遊んでいても、放送をよく聴き、落ち着いて行動できた子どもたちが多く安心しました。

がん教育講演会



1月20日(金)は、ひたちなか総合病院の医師を講師にお迎えし、6年生を対象にがん教育講演会を行いました。専門的な内容ではありませんでしたが、クイズ形式で分かりやすくお話いただき、子どもたちも積極的に発言し、楽しく学ぶことができました。改めて、生活習慣や健康診断の大切さに気付くことができました。

理科特別授業



1月31日(火)は、6年生を対象に、理科の学習でお世話になっているサイエンスサポーターの先生による特別授業を行っていただきました。気候変動問題に関する講話を聴いたり、化学電池の実験を行ったりしました。



## 第2回学校評価結果



学校評価のアンケート調査の結果について、ご報告いたします。保護者の皆様にご協力いただき、回答率 69.0% (-18.5%)でした。集計結果は、【児童】「よくできた」と「できた」、【保護者】「よくあてはまる」と「少しあてはまる」を合わせた割合です。主に、顕著な内容について取り上げました。

【児童】			【保護者】		
No	数値が高い項目 (90%以上)	12月 7月との比較	No	数値が高い項目 (90%以上)	12月 7月との比較
1	友達と楽しく生活している	99.2% 0.9%	20	学校は、授業参観、懇談会、学校行事、各種たより(学校、学年)、HP等を通して、教育活動の様子が分かるように努めている。	97.5% 3.5%
14	友だちを大切にし、親切にできる	96.2% -0.5%	15	学校は、登下校指導・交通安全教室・薬物乱用防止教室・情報モラル教室等を通して、子どもたちの安心・安全を守ることに努めている。	97.0% 1.7%
9	人の話をよく聞くことができる	95.8% -1.3%	1	子どもは、友だちや先生と楽しく学校生活を送っている。	95.5% -1.1%
19	交通ルールをまもり、安全に登下校している	95.3% -2.6%	14	学校は、学校行事や委員会・クラブ活動など、子どもたちのアイデアを取り入れ、子どもたちを主体とした取組を行っている。	94.4% 3.5%
7	タブレットや電子黒板をつかった学習は、わかりやすい	95.2% 1.1%	4	学校教育目標の「たくましく生きる児童」が育っている。	91.9% 0.1%
15	友だちと意見を出しあい、協力して活動することは楽しい	94.9% 1.2%	5	子どもは、自分で考え、正しい判断をして行動しようとしている。	91.4% 4.3%
4	健康に気をつけて生活している	94.9% -0.5%	19	学校は、子ども一人一人の可能性を引き出す学級づくりに取り組んでいる。	90.9% 1.7%
6	学習をしていて、わかったり気づいたりすると楽しい	94.5% 1.6%			
18	場におうじた言葉づかいができる	93.6% -0.9%	No	数値が低い項目 (80%以下)	12月 7月との比較
21	学級や学校のため、人のために行動することができる	93.6% -0.5%	18	子どもは、見通しをもって活動し、自分の行動を振り返り、考えを深めることができる。	77.8% 13.6%
2	学習や生活の中で、自分のやる事がわかり、しっかりと行うことができる	92.4% -0.5%	17	子どもは、地域の人と関わる活動(外部講師による体験学習、子ども会、祭礼等)に意欲的に取り組んでいる。	74.2% 10.4%
5	正しいと思ったことを すずんで行っている	91.9% 1.6%	10	子どもは、家庭学習の習慣がついている。	71.7% 3.2%
16	なかまはずれや、いじわる、いじめをしていない	91.9% -1.3%	11	子どもは、よく読書に取り組んでいる。	56.6% 3.5%
17	ルールをまもり、人のめいわくなることをしていない	91.1% -4.3%			
3	相手をみて、あいさつができる	90.7% -0.1%			
13	困ったときには、まわりの人に相談することができる	90.3% 0.8%			
10	家庭学習の習かんが身についている	89.8% 1.2%			
8	学習中、わからないことをまわりの人に聞くことができる	89.4% 1.6%			
20	地域の人や先生となつて行つてけん学習、子ども会、おまつりなどに意欲的にとりくんでいる	86.9% 4.1%			
12	自分で考えたことを友だちや先生に伝えることができる	84.7% 0.3%			
No	数値が低い項目 (80%以下)	12月 7月との比較			
11	時間があるときには本を読んでいる	74.2% 2.7%			

多くの項目は80%を上回る結果となりました。上記の表には、90%以上の項目を取り上げました。結果が良かった内容については、今後も継続できるよう努めていきます。

また、80%を下回る項目について考察します。

- 「読書」については、児童 74.2% (+2.7%)、保護者 56.6% (+3.5%) で、共にやや数値が高くなっていますが、まだ低い項目となっています。その後、新たな取組として、学級文庫の入れ替えを行っています。司書教諭補助員に選書を依頼し、国語科の年間計画を参考にして3か月毎に交換しています。また、必要に応じて、1,2組で入れ替えたり、社会科などで必要な本があれば追加したりしています。今後は、より楽しんで読むことができるよう配慮していきます。
- 「地域と関わる活動」については、児童 86.9% (+4.1%)、保護者 74.2% (+10.4%) で、共に7月と比較して数値が高くなっています。今後は、子どもたちのアイデアを取り入れながら、子どもたちから地域へ働きかける取組を行っていきたくと考えます。
- 「見通しをもって活動し、自分の行動を振り返り、考えを深める」については、保護者 77.8% (+13.6%) で、7月と比較して数値が高くなっています。今後も、各学級等で、見通しと振り返りに重点を置いて取り組み、その活動で得られたことなどを意識したり、考えを引き出しながら表現したりする機会を持つなど、子どもたちに気付きを与えていけるよう継続して指導を行っていきます。
- 「家庭学習の習慣」については、保護者 71.7% (+3.2%) で、やや数値が高くなっていますが、まだ低い項目となっています。今後も、タブレットを活用した学習や、授業やテスト実施に向けて見通しを持たせた学習等工夫することで、意欲を高めながら習慣化を図っていきたくと考えます。

7月に低い項目として挙げられていた「人の話をよく聴く」は、保護者 81.8% (+3.4%)、「多様な見方・考え方を受け入れながら、問題を解決する方法を見つける」は、保護者 83.3% (+4.5%) で、高い結果となりました。

詳細につきましては、本校ホームページに掲載しましたのでご覧ください。お忙しい中、ご協力いただきまして大変ありがとうございました。